

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 4170300398 | | |
| 法人名 | 株式会社アメニティライフ | | |
| 事業所名 | マーブルくらのうえ | | |
| 所在地 | 佐賀県鳥栖市蔵上3丁目304 (電話) 0942-87-5558 | | |
| 評価機関名 | 社団法人 佐賀県社会福祉士会 | | |
| 所在地 | 佐賀市八戸溝一丁目15番3号 | | |
| 訪問調査日 | 平成 21年3月26日 | 評価確定日 | 平成 21年4月26日 |

【情報提供票より】(平成 21年3月7日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|-----------------------|--------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 4 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 17 人 | 常勤 8 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 | 12.4 人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 重量鉄骨造り | | |
| | 2 階建ての | 1 階 ~ | 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|---------------|----------------|-----------|-------|
| 家賃(平均月額) | 37,000 円 | その他の経費(月額) | 16,000 円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(100,000 円) | 有りの場合 償却の有無 | 有(期間:入居時) | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 300 円 |
| | 夕食 | 500 円 | おやつ | 100 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(平成 21年3月7日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|-------|
| 利用者人数 | 17 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 13 名 |
| 要介護1 | 5 名 | 要介護2 | 5 名 | | |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 86.1 歳 | 最低 | 73 歳 | 最高 | 100 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------------------|
| 協力医療機関名 | 啓心会病院 門司歯科医院 齊藤内科医院 やよいがおか鹿毛病院 |
|---------|--------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

2階建ての2ユニットのホームである。新興の住宅地の中に位置し、周りの住宅に馴染んでいる。すぐ隣に、河川と遊歩道がある。遊歩道を進むと公園があり、入居者の散歩コースとなったり、近隣の住民との接点をもつ場所となっている。隣近所の方が盆栽をもって訪れたり、夏祭りなどの行事への参加を近所の方に呼びかけたりするなど、地域との交流がなされている。近所に新幹線駅が建設中であり、話の中で、新幹線に乗って、外出する機会がもてれば・・・と、将来の活動に楽しみが膨らむホームである。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では、職員の異動等の連絡について改善課題となっていたが、定期的なお便りや家族会の時に報告するよう取り組まれている。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で意見を出し合い、評価に取り組まれている。外部評価の結果や改善点は、会議を通して話し合いが行われ、職員全体で共有できるようにされている。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議では、ホームの活動報告が行われ、家族からの意見や要望をサービスの向上に活かすよう取り組まれている。しかし、地域の民生委員や区長、地域包括支援センターからの参加はない。今後、地域の様々な人の参加協力を呼びかけ、外部の意見、地域の情報などを取り入れながら、サービス向上に繋げていけるよう期待したい。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>請求書送付の際に、金銭管理の報告やホームでの様子や連絡事項など、担当の職員が手紙に記載して送っている。また、状態に変化がある場合など、随時、家族へ連絡が行われている。家族来訪時や家族会等で、問いかけ、意見や要望を聴くようにしており、出された意見や要望を運営に反映できるように取り組まれている。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ごみ収集や分別時に、近所の人と会話を通して、積極的に地域の住民と接点をもつよう努めている。地域の行事には可能な限り参加していきたい意向である。</p> |

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 入居者の立場や権利を尊重しつつ、地域で安心して生活できるようなサービスの提供を目指した理念を作られている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念を常に意識しながら、ケアに取り組めるように、ホーム内への掲示、介護日誌へのファイリング、申し送り時などを通して、確認が行われている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | ごみ収集、分別時に、近所の人と会話を通して、積極的に地域の住民と接点をもつように努めている。また、地域の行事には、可能な限り、参加していきたい意向である。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 全職員で意見を出し合い、評価に取り組まれている。外部評価の結果や改善点は、会議時に職員へ報告されている。また、結果や改善点を、職員が意識できるように、それらを介護日誌にファイリングしてある。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ホーム内での活動報告などがなされ、家族より出された意見や要望を、サービスの向上に活かすように取り組まれている。しかし、地域の民生委員や区長、地域包括支援センターなどからの参加はない。 | ○ | 今後、地域住民や地域包括支援センターなどへ参加を呼びかけ、そこからの意見や地域の情報などを取り入れながら、サービス向上に繋げていけるように期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | ホーム運営で、分からない事があれば、市へ相談し、助言や意見を尋ねられている。また、市のグループホーム協議会へ参加し、情報の共有や連携を行いながら、サービスの向上に取り組まれている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 請求書送付の際に、金銭管理の報告やホームでの様子や連絡事項など、担当の職員が手紙に記載して送っている。また、状態に変化がある場合など、随時、家族へ連絡が行われている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族来訪時や家族会等で、問いかけ、意見や要望を聴くようにしており、出された意見や要望を運営に反映できるように取り組まれている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 勤務で職員がユニット間を行き来したり、また、ホーム内の活動でユニット間の交流を行なうことで、急な異動や離職に対して、入居者へのダメージを防げるよう配慮を行っている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修を受ける機会を設け、必要に応じて、勤務調整や研修費用を補助している。また、資格取得も勧め、職員個人のスキル向上に努められている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 定期的にグループホーム協議会へ参加され、同業者との交流は図られているが、管理者レベルに留まっている。 | ○ | 管理者レベルに留まらず、他の職員が、地域のグループホームへの見学、同業者との学習会などの交流を持つことで、サービスの質の向上に繋がる事を期待する。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ホーム内の見学や、短時間の体験入居を取り入れ、入居前から安心して馴染めるように対応されている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 個々人の生活習慣や喜怒哀楽に関心を寄せながら、入居者から学び、協働しながら、生活が送れるように声かけや場面作りを行っている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々のかかわりの中で声をかけ、本人の希望や思いの把握に努めている。また、意思疎通が困難な方には、家族から情報を得ながら、職員全体で話し合い対応されている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人や家族の意向、必要な関係機関からも意見を取り入れ、話し合いを行ないながら介護計画の作成がなされている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的に介護計画の遂行状況など見直しが行われている。状態が変化した際は、本人や家族、関係機関から意見を取り入れ、新たな計画の作成が行われている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人や家族の状況に応じて、通院や買物、書類提出の代行など、柔軟に対応を行っている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ホーム協力医の定期的な診療の他、入居者や家族が希望する医療機関への受診支援がなされている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期のマニュアルが作成され、入居時に説明や意向の確認をされている。入居者の状態変化に応じて、家族や医師等と話し合いながら、ケアの方針を共有できるようにしている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 不快にさせないような言葉かけ、また、プライドを損ねないような対応を心がけられている。記録物などの個人情報の管理もきちんと行われている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な1日の流れはあるが、入居者一人ひとりの希望を尊重し、それぞれのペースで過ごせるよう支援されている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 一人ひとりの力に応じて、食事や調理の準備、後片付けを、職員と一緒にしている。職員全員とはいかないが、介助と一緒に食事を行い、楽しく食べられるように支援されている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 曜日や時間帯を決めずに、入居者の希望に応じて、入浴の支援を行っている。入浴を好まない方には、家族からの電話での促しなど、協力を得ながら対応されている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事の準備や掃除、畑の草取りなど、一人ひとりのもつ力や生活歴など把握し、それぞれ役割をもってもらい、意欲的に過ごしてもらえよう支援されている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 希望による散歩や季節に合わせたドライブなど、外出支援が行われている。外出を好まない方へは、ホームのテラスへ誘うなど支援されている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 居室や玄関出入り口には、日中は鍵をかけず、職員の見守りや出入り口にセンサーを設けるなどして、対応を行っている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回、入居者を交えて避難訓練が行われている。また、通報訓練や災害時の避難場所の確認なども行われている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養バランスの取れた食事提供を考えながら、職員全体で、献立の立案が行われている。入居者の状態に応じて、食事や水分の摂取量の記録、確認が行われている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者に負担とならないように、日中は外の光を取り入れて、明るい雰囲気作りに配慮されている。また、換気に注意したり、季節の花を飾るなどして、心地よく過ごしてもらえるように取り組んでいる。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人、家族と相談して、馴染みのある家具や写真などを居室に持ち込んでもらうなど、入居者の居心地のよさに配慮されている。 | | |